



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT
2560

国際ロータリー第 2560 地区

月信

3月号 Mar
2015-2016
Vol.09

夢 (gift) を



明日へつなげよう。



世界へのプレゼントになろう

01



ロータリー精神は和の精神です。

2015-16 年度国際ロータリー 第 2560 地区ガバナー 山本 和 則

千年に一度と言われた、東日本大震災から5年が経過します。あの折、被災地で見せた日本人の忍耐強く、冷静で秩序ある行動に、世界中の人々が驚嘆し、感動したことはまだ皆さんの記憶に残っている事と思います。私たち日本人の純真な心が表れた出来事だったと思っています。我が国は「和を以て貴しと為す」の国です。世界でも類を見ない和の精神は日本が世界に誇るべきものなのです。

そして、和の精神の根底に存在するのが、振り子の原理です。一方に振れた振り子は必ず、もう一方に同じくらい振り戻され、やがて中心に戻ってきます。日本人のDNAには、振り子の原理でバランスを整える知恵が刻み込まれていると思われまます。和の精神と振り子の原理を脈々と受け継いできた日本人だから出来る世界平和を考えましよう。

ロータリークラブはその活動を通して、世界の人々に奉仕することを目的としています。奉仕の心は、もともとの日本にも深く根付いていました。隣近所で味噌や醤油や米などを貸し借りしたのも、困った時に助け合う地域の絆、奉仕の心だったのです。ロータリークラブは米国が原点ですが、その精神は古くから日本にあり、その土壌があったからこそ、ここまで普及したのではないのでしょうか。大事な大事な精神です。子々孫々まで伝えていきましょう。



02



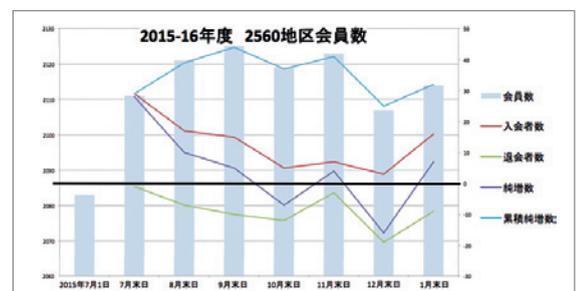
今一度“会員増強”をお願いします!!

クラブ奉仕委員長 片野 勉 (新潟西RC)



早いもので山本年度も残すところ4か月となりました。山本ガバナーの会員増強目標は純増で5% (104人)です。今までの増強実績はグラフで示した通り一時は44人となりましたが、最新の1月末では32人 (達成率 30.8%) となってしまいました。

年度末等で多忙の事とは存じますが、是非とも各クラブの会長さん、幹事さん、会員増強委員長さんを軸に、会員の皆さんの力を結集し、入会候補者を再度点検する等、会員増強活動の更なる強化を切にお願いいたします。





03



2016-17年度会長テーマ発表される・国際協議会報告

ガバナーエレクト 田中 政春（長岡西RC）

2016年国際協議会は、1月17～23日の間、米国カリフォルニア州サンディエゴ市で開催され、2016～17年度ジャーム会長のテーマ「人類に奉仕するロータリー」が発表されました。この協議会の目的は、ロータリーが直面する課題をより深く理解し、「超我的奉仕」を実践する心構えを整え、そして、ガバナー就任に向けた準備のためです。また、「one rotary」というコンセプトのもと、国際ロータリー、ロータリー財団、事務局が一体

となって、組織を効率的に運営出来るように会員を支援することにも力点が置かれていました。各スピーカーは、ロータリーが時代の変化に正しく対応しなければ消滅するという危機感を共有しているように私は感じました。

メイン会場入り口の垂れ幕「入りて学び、出でて奉仕」が、「JOIN LEADERS, EXCHANGE IDEAS, TAKE ACTION」に変わっていました。国際晩餐会入場のグランドマーチでは2560地区の小生が

先頭で入場し、国際色豊かなイベントを経験しました。



04



「日本のファンを作しましょう」

—第2回米山委員長セミナーに参加して—米山記念奨学委員会 寄付増進委員 小林 素子（新潟東RC）

思えば私とロータリークラブとの出会いは、当社に入社した女性フロントが米山記念奨学生だったことに始まります。

米山記念奨学会のルーツは、終戦の頃に遡ります。敗戦国となった日本の平和と名誉回復を願い、日本という国を正しく世界に広めたいという、その時代背景と諸先輩の思い。これを引き継ぎ、継続していく責任を思うと、改めて身の引き締まる思いが致します。日本のファンを一人でも多く作ることが、国の発展に寄与する事と信じて、これからはシンプルに日本人ならではの「おもてなし」を推進してまいります。

この度の委員長セミナーで、ある委員長さんが「会員数も少ないクラブですが、毎回、2時間半もかけてよく来てくれる。有難い。だから全員で温かく奨学生を迎えているんですよ」と、何とも言えない笑顔でおっしゃった中に原点を見た思いが致しました。



米山記念奨学生の体験発表



05



職業奉仕セミナー報告

職業奉仕委員会担当副幹事 永尾 久志（新潟南RC）

1月30日（土）ホテルオークラにおいて職業奉仕セミナーを開催いたしました。山本ガバナー・角南地区幹事を始め、各クラブから55名のご出席をいただきました。

今回は、柏崎中央RC会員で、当委員会委員でもある、鈴木公子さんから「自らの職業奉仕を通じた奉仕のあり方を考える」というテーマで講演いただきました。鈴木さんは、これまでの歯科医としての知識や経験と、幼少から病魔と闘い克服してきた経験を通して、正しい食生活のあり方と健康促進について、全国に広く講演や執筆活動を行い、啓蒙に尽力されております。この行動こそがまさに、ロータリーの職業を通じた奉仕のあり方そのものと言えます。

講演後は、グループ討議を行いました。各ク

ラブでの活動について、また会員企業独自の職業奉仕の考え方など、様々な意見交換を行い、最後にグループごとに代表者が結果を発表いたしました。

まとめとして、山本ガバナーに講評をいただきセミナーを終了いたしました。各クラブでの今後の活動に、何らかの一助となりましたら幸いです。ご出席いただいた皆様ありがとうございました。



06



ロータリー公共イメージ向上

社会奉仕／広報・ロータリー公共イメージ委員長 海津 正男（白根RC）



ロータリーのイメージ向上を図ることが、これからの全てのロータリー活動に関わってきます。みなさんの社会奉仕活動で地域の方々に喜んで頂くことによって、ロータリーの存在を知って頂く。このことによって、みなさんお悩みの会員増強、クラブの活性化など、全ての活動に好循環がもたらされます。

◆社会奉仕活動地区補助金一締め切り期限延長

只今、3合同開催、1単独開催、計11クラブから申請が上がっています。これから各クラブに周知し、予算（総額60万円）が消化するまで継続し

ます。条件もハードルを下げ、以下の2点をクリアして頂ければ対象とします。

- ・一般市民を対象とした事業であること。
- ・広報・報道の対象になる事業であること。

◆子ども虐待防止(オレンジリボン運動)の啓発、普及のセミナー開催

毎日のように、耳を覆いたくなるような子ども虐待のニュースや記事が報道されています。年度内にセミナーを開催します。地区社会奉仕委員会の事業計画であるこの運動を今一度ご理解頂きたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

◆第1、2、3ゾーン「公共イメージ向上作戦」

各クラブに於いて実施した奉仕活動を積極的にマスコミにPRして下さい。

その広報実績（新聞掲載記事）をPDF形式の電子ファイルにして地区までお送りください。

地区でまとめて第1、2、3ゾーン公共イメージコーディネーターに提出します。

日本全国の多くのクラブの参考事例として紹介されることがあります。

◎詳しくはガバナー事務所までお問い合わせください。

07



青少年交換派遣一年交換学生レポート

青少年交換派遣一年交換学生 飯吉 七瀬（高田東RC 推薦）

派遣地区：1870(独)／ホストRC：Borken RC

ドイツに来てちょうど6か月がたち、最近、毎日時間が過ぎるのが早く感じます。学校では後期セメスターが始まり6人いた留学生のうち1人が帰国して5人になりました。ですが、大学のためまた8月に戻ってきます。地区の留学生ともパーティーやROTEX主催のキャンプで最近ではカーニバルに参加しました。ホームステイはとても楽しくホストファミリーは私を“Japanese daughter”と言ってくれて、学校であったことなど毎日話したりしてまるで日本にいるかのように感じます。また、おとしの夏季交換のときのホストファミリーにも再会することができました。前はすべて英語だったので一緒にドイツ語で会話をして、どんなときよりも嬉しさがこみあげてきました。

授業や友達関係などで悩むこともありますが、あまり深く考えすぎたりマイナス思考になったりしないで誰かに相談したり、日常の中に楽しみを見つけることを大切に、残りわずかの留学生生活を笑顔で楽しみたいと思ひます。



08



ロータリー財団奨学生レポート「英国での勉強と生活」

2015-16年度 ロータリー財団地区奨学生 山村 耀（イギリス サウサンプトン大学 大学院コース）

地区奨学生の山村耀です。現在英国のサウサンプトン大学の修士課程で勉強しています。「国際共通語としての英語」が研究主題で、言語・文化・自己形成の関係、標準語と権威の関係、各国言語政策などについての授業を受けています。英国は「英語」が生まれた国ですが、帝国主義時代の影響で様々な言語・文化背景を持つ人々が暮らしているので、言語と文化を勉強するにはもってこいの場所で、毎日刺激的な日々を過ごしています。授業は週に4つでそれぞれ15単位と比重が大きく、試験期間には、学部の卒論の長さのエッセイをそれぞれの授業分課されるような感じで、かなり大変でした。

住まいは学生寮で、6人のフラットメイトと台所・風呂・トイレ共用で暮らしています。日本の当たり前が基本的に通じないため、言葉での意思疎通の大切さを日々痛感しています。休日

は寮から徒歩5分のかかなり巨大な公園でランニングをしたり、クラスメイトと食事に出かけたりしています。



土曜日のサウサンプトン・コモン(公園)。毎週土曜日、パークランという5km走るイベントが開催されています。



フラットメイトとクリスマスパーティ（サンタ帽子が私）



田中エレクトは1月16日に長岡を出発されアメリカカリフォルニア州サンディエゴにて国際協議会を受講され、無事元気に25日雪の長岡に帰って来られました。

- 1) ジョンF・ジャム会長エレクト テーマ「人類に奉仕する ロータリー」
 - 2) 田中政春 ガバナーエレクト 基本方針「基本を学び、地域と共に」
- 以上2016～2017 RI会長テーマと2560地区ガバナーの運営方針が発表

されました。この目標を実現するため、ガバナー補佐の皆さまを始め各委員会の皆さまからお集まり頂き知恵を出していただきたいと思います。

- 1) 会長エレクト研修セミナー (PETS)
*日時 2016年3月12日(土) *会場 長岡グランドホテル
- 2) 地区研修・協議会
*日時 2016年4月23日(土) *場所 ホテルニューオータニ長岡



新入会員

2月20日までに報告いただいた新入会員を掲載しております。

R	C	氏名	入会日	会社名	R	C	氏名	入会日	会社名
水原		中村 満	2016.1.2	(有)エムテック	高田		吉田 巧	2016.1.8	(株)吉田総合鑑定経済研究所
水原		今井 一志	2016.1.13	(株)ハリカ 水原店	三条北		白倉 昌夫	2016.1.12	第一コンピュータ印刷(株)
水原		葦澤 和哉	2016.1.13	(有)葦澤建設	柏崎		渡邊 義春	2016.2.10	東京パワーテクノロジー(株)新潟原子力事業所
水原		川瀬 正憲	2016.1.20	医療法人 潤生会 脳神経センター 阿賀野病院	【訃報】 謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。 2016年1月16日 ご逝去されました。 加茂RC 永井 栄治郎 2016年1月24日 ご逝去されました。 新潟東RC 伊藤 洋 2016年2月 2日 ご逝去されました。 柏崎東RC 森 貢				
中条		石浦 一成	2016.1.6	(株)クラレ 新潟事業所					
新潟西		高橋 治孝	2016.1.7	(有)アサヒ					
新潟東		坂田 翔祐	2016.1.8	生田流筆曲翔祐会					

2015-16年度 出席報告書

クラブ名	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	1月末現在	女性	増減
第1分区 (9クラブ)			355	363	36	8
新 発 田	2	95.03	92	92	0	0
村 上	4	91.18	35	35	7	0
水 原	4	83.59	23	26	1	3
中 条	4	92.86	33	35	3	2
新 発 田 城 南	4	88.51	41	39	5	-2
豊 栄	4	92.30	26	26	3	0
新 発 田 中 央	4	79.68	48	49	5	1
中 条 胎 内	4	82.82	30	32	6	2
村 上 岩 船	2	74.14	27	29	6	2
第2分区 (9クラブ)			450	460	19	10
新 潟	4	81.12	93	99	0	6
新 潟 東	4	85.94	64	65	8	1
新 潟 南	4	88.98	95	99	0	4
佐 渡	3	85.70	7	7	0	0
新 潟 西	4	88.89	39	39	1	0
佐 渡 南	4	83.64	44	44	4	0
新 潟 北	3	67.90	45	45	0	0
新 潟 中 央	4	73.73	26	25	0	-1
新 潟 万 代	2	75.68	37	37	6	0
第3分区 (6クラブ)			130	134	8	4
新 津	4	73.69	20	20	0	0
村 松	4	100.00	10	11	0	1
五 泉	3	76.46	17	18	3	1
白 根	4	80.95	44	43	3	-1
新 津 中 央	4	82.75	28	31	1	3
阿賀野川ライン	2	65.00	11	11	1	0
第4分区 (11クラブ)			358	362	23	4
三 条	4	84.31	51	54	0	3
燕	4	56.85	33	33	1	0
加 茂	3	83.74	29	28	6	-1
三 条 南	1	94.12	49	52	1	3
分 水	4	75.00	32	31	2	-1
見 附	4	70.00	19	19	1	0
吉 田	4	81.00	32	33	2	1
三 条 北	3	80.52	63	65	3	2

クラブ名	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	1月末現在	女性	増減
巻	4	80.00	9	9	0	0
田 上 あ じ さ い	3	61.10	7	6	1	-1
三 条 東	4	76.61	34	32	6	-2
第5分区 (7クラブ)			310	315	28	5
長 岡	3	86.87	40	44	2	4
柏 崎	3	76.57	46	47	0	1
長 岡 東	4	87.34	67	66	7	-1
柏 崎 東	2	82.08	54	53	5	-1
栃 尾	3	91.38	21	20	0	-1
長 岡 西	3	87.23	47	49	6	2
柏 崎 中 央	3	80.95	35	36	8	1
第6分区 (6クラブ)			154	157	9	3
十 日 町	3	97.91	31	32	1	1
小 千 谷	4	66.87	44	42	3	-2
雪 国 魚 沼	4	75.00	22	24	4	2
十 日 町 北	3	94.20	22	23	0	1
津 南	3	84.00	26	27	1	1
越 後 魚 沼	4	74.90	9	9	0	0
第7分区 (8クラブ)			320	323	26	3
高 田	4	97.66	62	64	0	2
直 江 津	3	72.91	49	50	3	1
新 井	4	76.62	32	31	3	-1
糸 魚 川	4	61.30	41	42	3	1
高 田 東	2	82.90	39	38	2	-1
糸 魚 川 中 央	4	73.65	37	37	0	0
頸 北	4	84.60	14	14	1	0
越 後 春 日 山	4	66.15	46	47	14	1

※先月号の訂正 中条RC 12月末日女性会員数 (3名⇒2名)

ク ラ ブ 数	56クラブ
2015年7月1日会員数	2,077人
2016年1月末日現在会員数	2,114人
女性会員数	149人
純増減会員数	37人
当月平均出席率	80.98%

掲載記事に関するお問い合わせ (紙面の都合で掲載できなかった写真はwebをご覧ください。)

国際ロータリー第2560地区ガバナー事務所
〒951-8053 新潟市中央区川端町6-53 ホテルオークラ新潟1階
TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-mail: k.yamamoto@rid2560niigata.jp
URL: http://www.rid2560niigata.jp

コーディネーターニュース 2016 年 3 月号

公共イメージについて考える

第 1 ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター補佐(ARPIC)

RID2570 鈴木秀憲(吹上 RC)

ロータリーは、毎年行われるリーダー交代による継続性確保の課題を認識し、一方で変化が激しく、予測が極めて困難な環境を考慮し、長期計画を組織運営の為の具体的な計画として位置づけ、2007 年 6 月、RI 理事会が 2007-10 年度の国際ロータリーの長期計画を承認しました。これにはロータリーの使命、ビジョン、優先項目、目標として提案された内容が検討され、7 つの優先項目とロータリーの基本的信条を表す 5 つの中核的価値観も含まれました。

3 年後の 2010 年に見直しが行われ、整理され、現在と同じ 3 つの優先項目になりました。(2011 年 11 月に、Strategic の日本語訳が「長期計画」から「戦略計画」になりました。)

これが、更に 3 年後の 2013 年に再度見直され、引き続き「現在の内容」になっています。

その優先項目の一つ「公共イメージと認知度の向上」について考えてみましょう。

この項目について考えると、一つは「ロータリーが行っていることを世間にご理解頂く為に周知する事。」つまり「どのように世間へお伝えするのか？」という事＝方法論ですが、私は「世間へお伝えすべき事項は何か？」という事つまり内容論を真っ先に考えます。

そして大切な事は「世間が必要としていることを行えば、結果として『ロータリーの公共イメージ』がアップする。」と考えます。世間があまり必要としない事を行っても、ロータリーの公共イメージは向上しないで、「マスターベーションを行っている」と受け取られかねないと考えます。マスターベーションという表現は酷いとしても、「公共イメージの向上」には繋がらないと思います。

それともう一つ、同じ地域に複数のクラブが有り、夫々が異なる奉仕活動を行っている、世間の方からは、やはり「ロータリーって何をやっているかよく解らない。」と思われれます。

従って「奉仕活動をどのように行うか？」が、肝心です。つまり何が公共の為になるかです。

この事を、クラブで(場合によったら同一地域の他のクラブも含め合同で)、或は地区で議論して、公共の為(公益)の事業を試みる必要があります。

又、当初は意義があった奉仕活動でも、年月を経ると意義や意味が薄れることもあります。奉仕活動の見直しつまり「スクラップ&ビルド」も考える必要があります。新しいジャンルの奉仕活動を行う事によって、新たな観点からの会員勧誘につなげる事も出来ます。

更に地区補助金を活用して公益事業を行い、同時にこの事を世間へ広報したら如何でしょうか？ 公益性の強い奉仕事業であれば有るほど、黙っていても世間で周知され、公共イメージや認知度は向上することでしょう。



寄付金速報 — 下期も順調なスタート —

1月までの寄付金は前年同期と比べ4.6%増、約4,780万円の増加です。普通寄付金が0.2%増、特別寄付金が7.1%増となりました。1月のみの単月納入額比較では、直近5年間のうち、普通寄付金は4番目の金額と少々送金が遅れておりますが、特別寄付金はトップの金額で、下期も順調なスタートを切ることができました。

1月は普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分でお送りいただく定期寄付）下期分の納入が主になります。今年度は1月末までに全クラブの73%、1,655クラブから納入いただきました。引き続きご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

内閣府による立ち入り検査を受けました

2016年1月13日、ロータリー米山記念奨学会事務局で、公益財団法人移行後初めての立入検査を受けました。検査官は公益法人行政担当室政策企画調査官および上席審査監督調査官の2人で、当財団からは三井章義副理事長および岩邊俊久事務局長、事務局職員が立ち会いました。

最初に、事業概況等について説明を求められ、三井副理事長から米山梅吉氏および財団設立の経緯と歴史について、続いて岩邊事務局長から、事業内容と活動概要等について説明を行いました。検査では、岩邊事務局長と事務局職員が質問内容に応じて回答しました。

検査終了後の口頭による講評では、文書で通達すべき事項はなく、奨学団体として適正な管理運営がされているとの評価を受けました。ただし今後の法人運営に関する検討課題がいくつかあげられましたので、検討し改善してまいります。

2016学年度 新規米山奨学生の合格者が決定

昨年12月～今年1月末にかけて、2016年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が各地区選考委員会によって行われ、合格者が決定しました。

1,329人の申し込みに対し、奨学金プログラム別の合格者数は、学部・修士・博士課程奨学金【指定校応募】が522人、地区奨励奨学金【指定校応募】が15人、クラブ支援奨学金が6人、海外応募者対象奨学金【海外からの個人応募】が6人となりました。このほか、海外学友会推薦奨学生を現在選考中です。

現在の合格者を国籍・地域別に見ると、中国40.3%、韓国14.2%、ベトナム14.0%、台湾4.4%、モンゴル4.0%の順となっています。4月からは、昨年度からの継続奨学生を合わせた749人が2016学年度奨学生となる予定ですが、今後、他の奨学金合格による辞退、海外学友会推薦奨学生の可否などによって、人数の変動が見込まれます。

【訃報】理事 金子千侍氏（第2570地区）逝去

第2570地区理事の金子千侍氏（87歳）が、1月27日にご逝去されました。金子氏は、1995-96年度の国際ロータリー第2570地区ガバナーで、1997年8月に当会理事に就任され、以降19年にわたり、ご奉仕くださいました。2005年8月から2011年8月の6年間は、副理事長の重責も果たしてくださいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。

第 2720 地区に米山学友会が誕生！

昨年 12 月に開催された常務理事会で、第 2720 地区（熊本・大分）米山学友会の設立が承認されました。かつて九州のロータリー 4 地区をカバーしていた「九州米山学友会」から、2008 年に第 2730 地区が、2013 年に第 2740 地区が独立しており、これで九州の 4 地区それぞれに米山学友会が存在



することとなりました。

2 月 7 日に開かれた設立総会には、第 2720 地区の学友と奨学生 16 人が出席し、初代会長には全紅女さん（2005-07/別府東 RC）、副会長にはスチッタ・グナセカラさん（2010-11/別府 RC）と朴志剛さん（2012-13/宇城 RC）、そのほか幹事・会計・理事 6 人が選任されました。全会長は、「第 2720 地区米山学友会は、社会や地域に貢献できる活動をしてまいります。設立総会は終わりではありません、スタートです。

一年後の総会で素晴らしい活動報告ができるよう、これから皆で力を合わせて一所懸命頑張ります」と意気込みを述べ、設立に関わった地区米山奨学委員長の秋吉 実氏ら関係ロータリアンたちは、感無量の面持ちで見守っていました。総会後の懇親会には、ガバナーやパストガバナー、他地区からもロータリアンや学友がお祝いに駆けつけ、100 人以上が集まる盛会となりました。

みんなで、ソウル国際大会へ…！ お得な登録料は 3/31 まで

ソウル国際大会まで 3 ヶ月余りとなりました。地元の韓国学友はもちろん、台湾、中国、タイ、モンゴル、マレーシア、日本など、各国から多くの学友が参加予定です。国際大会に参加する皆さま、地区やクラブでお世話した学友に声をかけ、ぜひこの機会に、ソウルでの再会や交流を楽しみませんか？3 月 31 日までに登録すると、学友は US100 ドル（4/1～ US130 ドル）、ロータリアンは US375 ドル（4/1～ US440 ドル）と、それぞれ割引登録料が適用されます。



【ソウル国際大会・米山関係のお知らせ】

- ◆ 「友愛の家」の Rotary Projects エリアに、米山記念奨学会のブースを出展します（5/28～6/1）
- ◆ 分科会を **5/30**（月）午後開催します。発表は日本語で行います（英・韓の同時通訳あり）
- ◆ 5/28 羽田空港出発・3 泊 4 日のパッケージツアーをご用意しています。詳しくは、米山記念奨学会ホームページまで（<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/ric-2016seoul/tour>）



今後開催される海外米山学友会総会のご案内

タイ 2016 年 3 月 13 日（日）

会場：Hi-Residence（649/1-176 Asok Dindaeng Road, Dindaeng Bangkok 10400）

時間：年次総会 15:00-17:00、選挙委員会 17:00-18:00、夕食会 18:00～21:00

平成28年2月25日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 中村博直

拝啓

春浅の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。このたびは、下記8点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文庫通信 (342号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「職業奉仕を学ぶ」

- ◎ 「会社は誰のものか」 深川純一 2015 16p (職業奉仕を学ぶ)
- ◎ 「企業の社会的責任(CSR)について」 安平和彦 2015 10p (職業奉仕を学ぶ)
- ◎ 「職業奉仕月間に思うロータリーのこころ」 中谷研一 2016 3p (D.2550月信)
- ◎ 「職業奉仕月間について思う事」 梅津敏光 2016 1p (D.2800月信)
- ◎ 「職業奉仕活動の実例」 保延輝文 2016 2p (D.2820月信)
- ◎ 「職業奉仕月間に因んで 新入会に向けて」 福田武男 2015 4p (D.2510月信)
- ◎ 「職業奉仕について」 岩田勝美 2016 1p (D.2630月信)
- ◎ 「『四つのテスト』は職業奉仕の哲学」 坂本俊雄 2015 3p (ロータリーへの私の思い)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日